



市民と野党の共闘で、安倍自公政権を退陣へ

今年こそ



つくしヶ丘の公営住宅前で訴える村椿議員

松浦市議・村椿市議が元日に元旦宣伝

日本共産党網走市委員会恒例の街頭宣伝が、元旦の午前10時から、公営住宅などの6ヶ所において、松浦敏司、村椿敏章の両議員が約2時間にわたって行いました。今年も、元旦というのに積雪も少なく天気にも恵まれ輝かしい新春の街頭宣伝となりました。

村椿議員は、「昨年の市議会議員選挙で多くのみなさんからご支援をいただき市議会議員に当選することができました」と感謝の言葉を述べて、日本共産党を2議席にしていたいたこととで、全ての委員会に党の議員が入ることができた。また、決算委員会では議長、議会選出の監査委員を除く全議員で審査することになったと報告し、今年3月議会では代表質問をすることができると、市民のみなさんのご意見・要望を議員団に寄せてくださいと訴えました。

解散総選挙で政権交代を



大曲2丁目公営住宅前で訴える松浦議員

松浦議員は、市議会選で2議席となり、大きな力を発揮していただくことを報告し、3月議会では村椿議員が代表質問に立つ予定をしていると報告しました。また、「今年は、安倍政権は、「桜を見る会」「カジノ贈収賄事件」などで追い詰められて、解散総選挙に打って出ることが予想されている。比例での日本共産党の躍進と小選挙区では野党共闘の候補者を勝利させ、政治も経済も壊してしまつた安倍政権を倒しましょう」と訴えました。

2020年「新春のついで」

のお知らせ

- ・日時：2月2日(日) 12時開会
- ・場所：エコーセンター2階大会議室
- ・会費：1000円

みなさんのご参加をお待ちしております。*11月号後援会ニュースで1月19日開催とお知らせしましたが、都合により変更になりました。

松浦市議の奮闘

正月早々、「アメリカがイランのソレイマニ司令官をドローンで殺害した」と、いやなニュースが流れてきました。特に、恐ろしいのはトランプ大統領の自慢げに発言していることです。いかなる理由にせよ人の命を勝手な理由をつけて殺害することは到底許されるものではありません。英独仏の3カ国などが直ちに、米・イラン双方に緊張緩和を求めると声明を出しました。しかし驚くことに、安倍首相は中東情勢について記者から問われても「今月、諸般の事情が許せば、中東訪問の準備を進めたい」と述べるだけでした。

安倍首相は昨年、米国とイランの橋渡し役を自任し、イランの最高責任者らと会談しました。しかし、米イラン関係悪化の原因はトランプ政権によるイラン核合意からの一方的な離脱です。イランには核合意の順守を求め、米側には一切核合意復活を求めませんでした。橋渡しの意味を理解していない人が、日本の総理大臣になっている。

村椿議員が



昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いたします。

末の息子が札幌から年末に帰るなり、「網走から出てみて初めて自分の家が特別な感じがした。」とのこと。19歳の多感な時期、ノストラダムスの大予言を読み、世界は破滅するなど信じていた自分を思い出した。確かに若者に押し寄せるマスメディアの情報を知っていると、私達の考えていることは、絵空事に感じられるかもしれない。しかし、35年前にスマホの便利な社会や温暖化が進み島が無くなることを想像できただろうか。世界社会は進歩し変化していくのだと思う。

1月14日から始まる日本共産党の第28回大会が静岡県熱海市で行われるが、そこに私は参加する。日本や世界で起こっている現実を直視し、問題を解決するために、今の日本共産党が目指していることを多くの同志と語り合える場となることを期待している。未来社会を語ることに楽しいですよ。

流水

今回から、3回に渡り、爺とバーバーの珍道中を息子が住むカンボジア国プノンペン市から送ります。「網走の冬は寒い、今年の正月は、暖かい所で過ごしたい」と妻が計画、爺が乗せられ、ボデイガード兼荷物持ちとして同行します。▼元はと言えば、1年前アンコールワット観光旅行をした。爺は旅行を渋っていたが、「アンコールワット国際ハーフマラソンに出場予約してしまつた」と妻が先を制した。昨年「とても暑かつた、アンコールワットマラソン」と題してこの「流水」に投稿した。▼旅の準備は、1回行っているのだからそこにし、無い物は現地調達とする。カンボジアは貧富の格差が大きく、治安は悪い。今回は、タイ、バンコク経由でカンボジアへ、飛行機の乗換えが心配、英語は話せず、妻は「なんとかなるさ」と平然。「恐るべき、怖さを知らない」▼プノンペン市は人口200万人以上、今は乾季ですが気温33度、湿度は無くカラッとしています。町は大変活気があり、道路はオートバイ、自動車、小型の三輪車が多く、朝の通勤時は大渋滞、カンボジアでは車などが優先で、歩行者が弱者、交通事故故に合っても「轢かれ損」なので注意しろと言われます。信号は少なく道路を横断するのは命がけで、今は地元の人の横について一緒に渡りますが、とても危険です。

ーアスリート爺ー